

1 つぎの文章を読んで問題に答えましょう。

日曜日の午前中、しゅうたは夏休みの自由研究を進めるため、市の図書館へ向かった。館内に入ると、静かな空気が広がり、ページをめくる音さえ聞こえそうなくらいだった。しゅうたは入口の掲示を見て、「館内では静かにお願いします」という言葉を思い出し、小さくうなずいた。席に着き、ノートと参考資料を広げて調べものを始めた。

一時間ほどたったころ、後ろの席からにぎやかな声が聞こえてきた。三人の同じ学校の上級生らしく、宿題の相談をしているようだ。最初は小さな声だったが、少しずつ話し声が大きくなり、笑い声までまぎってきた。周りの人たちは気まずそうに視線を向けるが、三人は気づいていないようだった。

しゅうたは気になったものの、「ぼくが注意してもいいのかな」と迷った。自分より年上の人に声をかけるのは勇気がいる。しかし、このままでは調べものに集中できないし、他の利用者も困っているように見える。どうしようかと考えあぐねていると、近くの席にいた年配の男性が、静かに席を立ち、三人の方へ近づいた。

「ここは、みんなが静かに利用する場所ですよ。少し声をひそめてくれると助かります。」

男性は怒鳴らず、落ちついた声で丁寧に伝えた。三人ははっとして顔を見合わせ、「すみません、気を付けます」と頭を下げた。館内の空気がふっと元に戻るのを、しゅうたは感じた。

その後、しゅうたはノートに「公共の場での気づかい」というタイトルを書き込んだ。今の出来事が、自由研究のテーマとしてぴったりだと思ったのだ。

「誰もが気持ちよく過ごすためには、場所に合ったふるまいをすることが大切だ」と気づいた瞬間だった。

昼ごろ、休憩スペースでお弁当を食べようとしたとき、近くにいた幼い子どもが紙パックのジュースを手から落としてしまった。ジュースは床にこぼれ

子どもは泣きそうな顔をしている。母親らしき人は慌ててティッシュを取り出したが、少し量が多くて拭ききれないようだった。

しゅうたは迷わず、休憩スペースの片隅に置かれた雑巾を持って近づいた。「これ、使ってください」と声をかけると、母親は驚いたように顔を上げ、「ありがとうございます」とほほえんだ。こぼれたジュースがきれいに拭き取られると、子どもも安心したように笑った。

その瞬間、しゅうたは思った。「公共の場では、迷惑をかけないだけじゃなく、困っている人に目を向けることも大切なんだ」と。自分の行動で誰かが助かることが、こんなにうれしいのだと胸の中が温かくなるのを感じた。

帰り道、しゅうたは青空を見上げながら、図書館で見た二つの場面を思い返した。静けさを守ること、困っている人に手を差し伸べること——どちらも、みんなが気持ちよく過ごすために必要な態度だ。「ぼくも、あのとときの男性みたいに、落ち着いて行動できる人になりたいな」と思った。

そして、家に帰ったら、今日の気づきを自由研究にまとめようと心に決めた。「公共の場での態度」は、自分だけでなく、まわりの人の一日をも明るくできるものなのだと、しゅうたは静かに実感していた。



(1) 次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 年配の男性が上級生に静かにするよう伝えた。
- ② しょうたが図書館で調べ学習を始めた。
- ③ 休憩スペースでこぼれたジュースをしょうたが拭くのを手伝った。
- ④ 上級生たちの話し声がしだいに大きくなった。



(2) 上級生たちが注意される前、しょうたが「ぼくが声をかけてもいいのかな」と迷ったのはなぜですか。最もふさわしいものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① 年上の人に注意するのは勇気がいると思ったから。
- ② 上級生たちが何を話しているか興味があつたから。
- ③ しょうた自身も全く静かにしていなかったから。
- ④ 図書館で注意するのは禁止されていると思ったから。

(3)

しょうたは、年配の男性が上級生に声をかけた場面を見て、どのようなことに気づきましたか。本文に合うように四十五字以内で書きなさい。



(4)

本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- () しょうたは注意してくれた男性を見て落ち着いた伝え方が大切だと感じた。
- () 上級生は職員に厳しく怒られ、そのまま図書館を退館させられた。
- () 休憩スペースで、しょうたはこぼれたジュースを拭くのにハンカチを渡してあげた。

(5)

本文中で使われた「声をひそめて」とほぼ同じ意味の言葉として、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① 小声で話す
- ② 声がわりする
- ③ 声をはりあげる
- ④ 声をそろえる

(6)

しょうたが、公共の場では「迷惑をかけないだけでなく、もう一つ大切なことがある」と気づいた場面があります。その「もう一つ大切なこと」を表す文中の言葉を、二十字以内で抜き出しなさい。



(1) 次の出来事を起こった順に並べかえなさい。

- ① 年配の男性が上級生に静かにするよう伝えた。
- ② しょうたが図書館で調べ学習を始めた。
- ③ 休憩スペースでこぼれたジュースをしょうたが拭くのを手伝った。
- ④ 上級生たちの話し声がしだいに大きくなった。

② ↓ ④ ↓ ① ↓ ③

(2) 上級生たちが注意される前、しょうたが「ぼくが声をかけてもいいのかな」と迷ったのはなぜですか。最もふさわしいものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① 年上の人に注意するのは勇気がいると思ったから。
- ② 上級生たちが何を話しているか興味があつたから。
- ③ しょうた自身も全く静かにしていなかったから。
- ④ 図書館で注意するのは禁止されていると思ったから。

(3)

しょうたは、年配の男性が上級生に声をかけた場面を見て、どのようなことに気づきましたか。本文に合うように四十五字以内で書きなさい。

解答例)

誰もが気持ちよく過ごすためには、場所に合ったふるまいをすることが大切だと気づいた。

(4) 本文の内容と正しければ○、ちがっていれば×をつけなさい。

- (○) しょうたは注意してくれた男性を見て落ち着いた伝え方が大切だと感じた。
- (×) 上級生は職員に厳しく怒られ、そのまま図書館を退館させられた。
- (×) 休憩スペースで、しょうたはこぼれたジュースを拭くのにハンカチを渡してあげた。

(5)

本文中で使われた「声をひそめて」とほぼ同じ意味の言葉として、最も適切なものを選び番号を○で囲みなさい。

- ① 小声で話す
- ② 声がわりする
- ③ 声をはりあげる
- ④ 声をそろえる

(6)

しょうたが、公共の場では「迷惑をかけないだけでなく、もう一つ大切なことがある」と気づいた場面があります。その「もう一つ大切なこと」を表す文中の言葉を、二十字以内で抜き出しなさい。

困っている人に目を向けること